



交通安全はみんなの願い

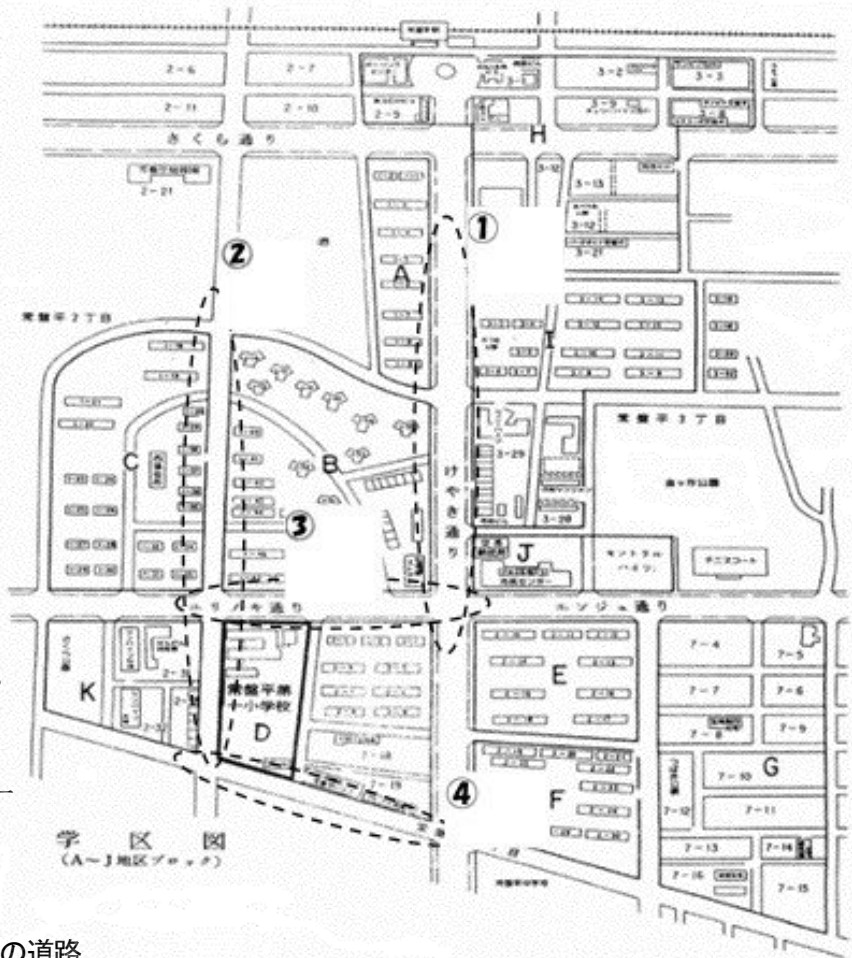
R3. 12

右の図は、1学期に行われた通学路点検の際に保護者の皆様からも指摘された、交通安全上注意を要する箇所です。

- ① 幅の広い歩道と下り坂による自転車との接触の危険 = けやき通り
- ② 交通量が多く速度を出す自動車が多いことによる危険 = 学校裏の県道に繋がる道路
- ③ 信号機が設置されていても感じる危険 = 正門前の通りの歩者分離信号と押しボタン信号

※ 歩者分離の信号は赤青の切り替わりのタイミングが違うために車が「見切り発車」しやすく歩行者も勘違いしやすい。また、信号の間隔が短いと「赤信号にかからないように…」とスピードを出す運転者もいる。

- ④ 見通しの良い直線道路で速度を出す自動車が目立つ危険 = 学校のプール裏の道路



このうち、①と④については、注意喚起の看板の設置や路側帯のカラーリング等の対応が市教委より示されています。

計画的に作られた常盤平団地とその周辺は、交通安全上の配慮がなされていて、日本全国の他の地域に比べても「安全」な地域であると思います。それでも、上述のように注意を要する箇所があり追加の措置がなされています。「絶対」はあり得ません。「自分の身は自分で守る」という考えに立って、子どもも大人も自分自身の交通安全に対する意識を高めていくことも必要です。

- ① ルールやマナーを守って自転車に乗っていますか？子どもでも加害者となり責任が問われます。
- ② 横断歩道のないところで道路を横断していませんか？
- ③ 自動車を運転される方は、「ゼブラストップ」など歩行者に配慮した運転をしていますか？

ルールやマナーを守って相手を思って行動するという事は、なにも交通安全だけに限ったことではないかもしれません。コミュニケーションの基礎でもあります。もちろん、学校でも機会をとらえて、交通安全についての指導をします。その上で、子どもも大人も地域の一員としてお互いの命を守る気持ちをもって行動をし、特に大人は子どもの手本となるよう行動していきたいものです。

飲酒や酒気帯びの運転はもちろん厳禁です。また、早朝や夕暮れは日差しが眩しく視界が遮られることもあります。この時間帯の住宅街での運転も十分に気をつけてください。